

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	長谷川 理恵 (はせがわ りえ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	大学院人間科学研究科 修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2025 年 9 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	地域活性学会 第 17 回研究大会 (島根県立大学)
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	長谷川 理恵
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	三浦半島農業の発展要因
発表・活動・開催の概要と成果 (学会発表の場合、抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p><概要></p> <p>本研究は、半島特有の地形的・交通的制約を抱える神奈川県三浦半島において、農業がいかに発展してきたのかを歴史的・地理的・社会的観点から分析したものである。対象は三浦市と横須賀市であり、農業センサスや農協・自治体資料の分析、ならびに農業者インタビューを行い、「三浦半島型農業」と呼ばれる発展モデルの形成要因を明らかにした。調査の結果、三浦市では大規模圃場での少品目大量生産と農協共販体制を基盤とした農業経営が確立されている一方、横須賀市では傾斜地を活かした少量多品目栽培と直売所「すかなごっそ」を中心とする流通戦略が展開されていることを確認した。また、歴史的には横須賀海軍による需要、京浜急行の延伸の有無、土壌条件や行政施策などが農業発展に大きく影響を与えてきた。</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業経営の地域差の明確化 ・ 「都市益」の活用 ・ ブランド形成と流通戦略 ・ 歴史的要因の影響 <p>半島という条件不利性を逆手に取り、「地形条件×流通形態」の多様性が持続的発展の鍵となる。本事例は、他の半島地域や中山間地域農業の政策設計にも応用可能である。</p> <p>地域活性学会第 17 回 研究大会 in 島根県浜田市 研究発表予稿集 https://www.chiiki-kassei.com/img/files/taikai/taikai17/yokousyuu2025.pdf?0828</p>	